

三菱電機 店舗用トータルシステムコントローラ LME-SC150A


据付工事説明書 (販売店・工事店様用)


このたびは、三菱電機 店舗用トータルシステムコントローラをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書を必ずお読みください。

本機の操作・設定方法に関しては、店舗用トータルシステムコントローラ技術マニュアルをご参照ください。また、空調機本体への配線、および空調機本体の据付工事に関しては、空調機本体の据付工事説明書をご参照ください。冷蔵・冷凍機器本体への配線、および冷蔵・冷凍機器本体の据付工事に関しては、冷蔵・冷凍機器本体の据付工事説明書をご参照ください。

安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、据付けてください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

 **警告** 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度

 **注意** 取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が想定される危害、損害の程度

- 図記号の意味は次のとおりです。



- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、この本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

電気配線工事は「第一種電気工事士（工事条件によっては第二種電気工事士）」の資格のある者が行うこと。

一般事項

警告

特殊環境では、使用しないこと。

- 油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用した場合、著しい性能低下・腐食による感電・故障・発煙・火災のおそれあり。



使用禁止

水・液体で洗わないこと。

- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

電気部品に水をかけないこと。


- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

濡れた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。


- 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手禁止

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、給電用電源を切ること。


- けが・感電のおそれあり。



感電注意

薬品散布する場合、システムコントローラを停止し、カバーを掛けること。


- 薬品がかかると、けが・感電をするおそれあり。



感電注意

据付・点検・修理をする場合、周囲の安全を確認すること。(子どもを近づけないこと)


- 工具などが落下した場合、けがのおそれあり。



指示を実行

異常時(こげ臭いなど)や不具合が発生した場合、運転を停止して電源を切ること。


- お買い上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡すること。
- 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。



指示を実行

カバーを取付けること。

- 不備がある場合、ほこり・水などによる感電・発煙・発火・火災のおそれあり。




指示を実行

⚠ 注意

製品の近くに可燃物を置かないこと。また、可燃性スプレーを使用しないこと。


- 引火・火災・爆発のおそれあり。



使用禁止

動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しないこと。


- 保存品が品質低下するおそれあり。



使用禁止

先のとがった物で表示部・スイッチ・ボタンを押さないこと。


- 感電・故障のおそれあり。



使用禁止

部品端面に触れないこと。


- けが・感電・故障のおそれあり。



接触禁止

ガラス部品に力を加えないこと。


- 損傷によるけがのおそれあり。



けが注意

保護具を身につけて作業すること。

- 保護具を付けないとけがのおそれあり。




指示を実行

据付工事をするときに

⚠ 警告

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところに設置しないこと。


- 可燃性ガスがシステムコントローラの周囲にたまった場合、火災・爆発のおそれあり。



据付禁止

地震に備え、所定の据付工事を行うこと。


- 不備がある場合、システムコントローラが落下し、けがのおそれあり。



指示を実行

梱包材を処理すること。


- 梱包材で遊んだ場合、窒息事故のおそれあり。
- 破棄すること。



指示を実行

製品の質量に耐えられるところに据付けること。

- 強度不足や取付けに不備がある場合、製品落下し、けがのおそれあり。




指示を実行

⚠ 注意

製品を水のかかるおそれのあるところ・湿度が高く結露するようなどころには据付けないこと。


- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

販売店または専門業者が据付工事説明書に従って据付工事を行うこと。

- 不備がある場合、感電・火災のおそれあり。



指示を実行

電気工事をするときに

⚠ 警告

電源線を信号端子台に接続しないこと。

- 接続した場合、損傷・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



接続禁止

配線に外力や張力が伝わらないようにすること。

- 伝わった場合、発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



発火注意

端子接続部に配線の外力や張力が伝わらないように固定すること。

- 接続や固定に不備がある場合、発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



発火注意

電気工事をする場合、主電源を切ること。

- けが・感電のおそれあり。



感電注意

第一種電気工事士（工事条件によっては第二種電気工事士）の資格のある者が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および据付工事説明書に従って電気工事を行うこと。電気配線には所定の配線を用い専用回路を使用すること。

- 電源回路容量不足や施工不備がある場合、システムコントローラが故障し、感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を実行

電源配線工事には、電流容量などに適合した規格品の配線を使用すること。

- 不適合の場合、漏電・発熱・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を実行

D種接地工事（アース工事）は第一種電気工事士（工事条件によっては第二種電気工事士）の資格のある電気工事業者が行うこと。

- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないこと。
- アースに不備がある場合、システムコントローラがノイズにより誤動作し、感電・発煙・発火・火災・爆発のおそれあり。



アース接続

⚠ 注意

ケーブルの切屑などが端子台に入らないようにすること。

- ショート・感電・故障のおそれあり。



感電注意

部品端面にケーブルが触れないこと。

- ショート・漏電・感電・故障のおそれあり。



感電注意

配線引込口をパテでシールすること。

- 露・水が侵入した場合、感電・故障・火災のおそれあり。



指示を実行

移設・修理をするときに

⚠ 警告

移設・修理をする場合、販売店または専門業者に依頼すること。分解・改造はしないこと。

- 不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

⚠ 注意

基板を手や工具などで触ったり、ほこりを付着させたりしないこと。

- ショート・感電・故障・火災のおそれあり。



接触禁止

お願い

据付・点検・修理をする場合、適切な工具を使用してください。

- ◆ 工具が適切でない場合、機器損傷のおそれあり。

ベンジンやシンナー、化学雑巾などでシステムコントローラに触れないでください。

- ◆ 汚れがひどい場合、水でうすめた中性洗剤を布につけ、よく絞った状態でふき取り、乾いた布でふきあげること。
- ◆ 変色のおそれあり。

病院・通信・放送設備がある事業所などに据付ける場合、ノイズに対する備えを行ってください。

- ◆ インバーター機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響による、製品の誤動作・故障のおそれあり。
- ◆ 製品側から医療機器に影響を与え、人体の医療行為を妨げるおそれあり。
- ◆ 製品側から通信機器に影響を与え、映像放送の乱れや雑音の弊害が生じるおそれあり。

電源線と信号線を結束したり同じ金属管に収納したりしないでください。

- ◆ 誤動作のおそれあり。

ネジを締めすぎないでください。

- ◆ 損傷するおそれあり。

追加穴を開けないでください。

- ◆ ケース損傷のおそれあり。

直射日光のあたる場所、または周囲温度が 40℃以上・0℃以下になる場所にリモコンを据付けしないでください。

- ◆ 変形・故障のおそれあり。

制御盤などの扉に取付けないでください。

- ◆ 振動・衝撃が加わると、落下・故障のおそれあり。

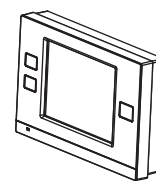
配線を端子台に接続する際に、圧着端子を使用しないでください。

- ◆ 基板と接触し故障のおそれあり。
- ◆ カバーと接触しカバー損傷のおそれあり。

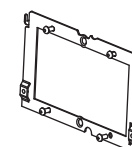
1 部品確認

箱の中には、次の部品が入っています。

番号	品名	数量
①	LME-SC150A 本体	1
②	取付板	1
③	木ネジ (M4.1×16) (取付板を壁に直接取付ける時に使用)	4
④	M4 ナベネジ (M4×30) (取付板をスイッチボックスに取付ける時に使用)	4
⑤	M4 ナベネジ (丸ワッシャー、スプリング付) (M4×20) (本体を取付板に取付ける時に使用)	2
⑥	据付工事説明書 (本書)	1



① LME-SC150A



②取付板

2 製品仕様

2.1 仕様

項目		仕様	
電源		DC17～30V(※1) (M-NET 接続専用)	給電ユニットから M-NET 伝送線を介して受電。 本機の消費電力係数(※2)は「16」です。
使用環境	温度	使用温度範囲	0～40℃
		保存温度範囲	-20～70℃
	湿度	30%～90%RH(結露なきこと)	
質量		0.5Kg	
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)		180×120×30mm	

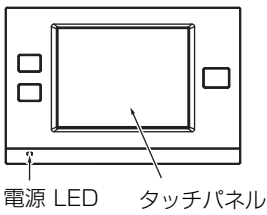
※1 市販の DC 電源装置は使用できません。

当社製の伝送線用給電拡張ユニット (PAC-SF46EP など) を使用してください。

※2 消費電力係数とは M-NET 伝送線から受電し、動作する機器の消費電力を表す係数です。
詳細は、3.2「給電方法」をご参照ください。

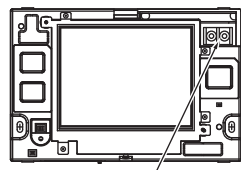
2.2 各部の名称と機能

前面 (カバー取付状態)



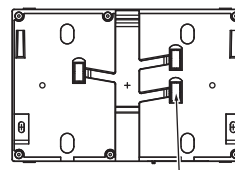
電源 LED タッチパネル

前面 (カバー取り外し状態)



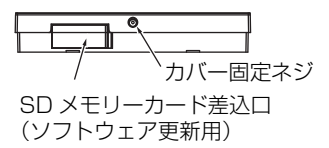
M-NET 伝送線を接続します。
(A, B: M-NET 伝送線端子 (無極性))

背面



外部出力アダプタ接続口

底面

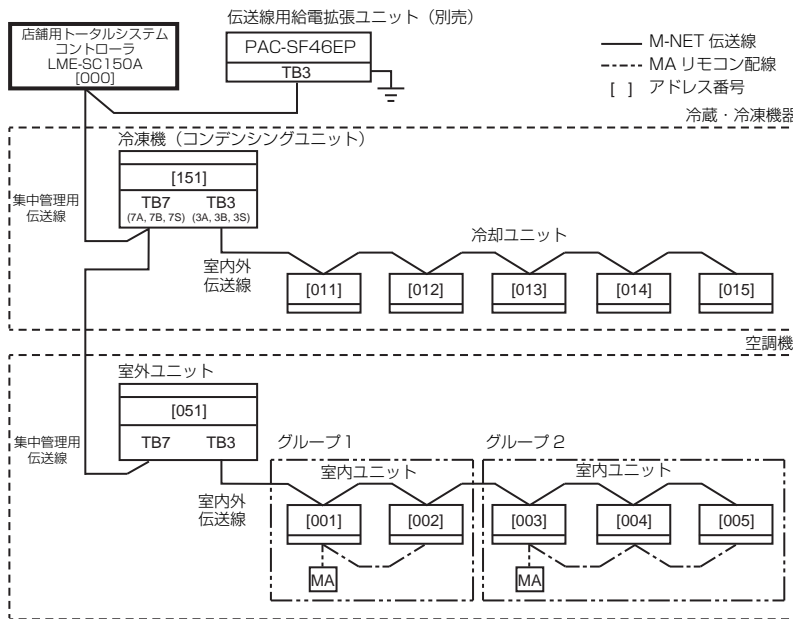


カバー固定ネジ
SD メモリーカード差込口
(ソフトウェア更新用)

3 システム構成

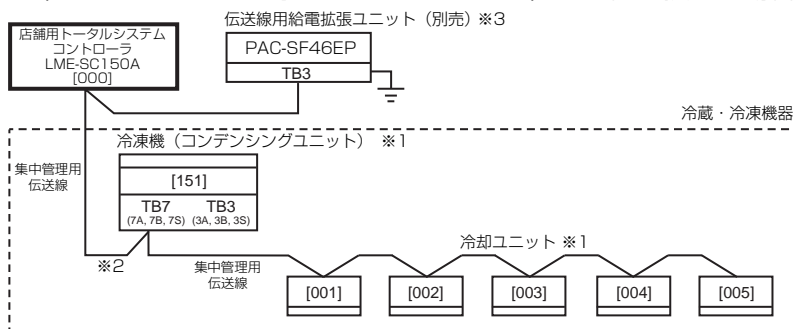
3.1 システム図

●通常接続の場合



- 左図は電源線を省略し、M-NET 伝送線とリモコン配線についての構成を表わしています。
- 集中管理用伝送線のシールドアースは、伝送線用給電拡張ユニットにて、一点アース処理してください。(D 種設置) また、室内外伝送線では、各室外ユニットおよび冷凍機系統ごとにアース処理してください。
- 空調室外ユニットの集中管理用設定の詳細は室外ユニットの据付工事説明書を参照してください。
- 冷蔵・冷凍機器の集中管理用設定の詳細は「三菱ショーケーステクニカルマニュアル コントロール編」を参照してください。

●FM (三菱ショーケース用マルチコントローラ) から置き換えの場合



- ※1 各ユニットは従来機のまま接続します。
- ※2 冷却ユニットは集中管理用伝送線 (TB7) に接続します。
- ※3 伝送線用給電拡張ユニットに取り替えてください。

システム構成の詳細は、店舗用トータルシステムコントローラ 技術マニュアルをご参照ください。

3.2 給電方法

伝送線用給電拡張ユニット (PAC-SF46EP) を使用して本機へ給電してください。集中管理用伝送線に本機以外の受電ユニットが無い場合には、伝送線用給電ユニット (PAC-SC51KU) が使用可能です。
(受電ユニットの消費電力係数の総和が、給電ユニットの給電能力係数以下になるように設定してください)
伝送線用給電ユニット・伝送線用給電拡張ユニット・冷凍機・室外ユニットの給電能力係数は下記の通りです。

給電ユニット形名	給電能力係数	備考
伝送線用給電ユニット (PAC-SC51KU)	20	条件により使用可
伝送線用給電拡張ユニット (PAC-SF46EP)	100	使用推奨ユニット
冷凍機 (R410A コンデンシングユニット)	128(※1)	
室外ユニット (R410A ビル用マルチエアコン (シティマルチ S シリーズ、シティマルチ Y GR P224、P280 形を除く))	128(※1)	
室外ユニット (R410A ビル用マルチエアコン シティマルチ Y GR P224、P280 形)	64(※2)	

※1 集中管理用伝送線 (TB7) への給電能力係数は 30、室内外伝送線 (TB3) への給電能力係数は [128-TB7 使用分]

※2 集中管理用伝送線 (TB7) への給電能力係数は 0、室内外伝送線 (TB3) への給電能力係数は 64

各受電ユニットの消費電力係数は下記の通りです。

受電ユニット形名	消費電力係数	受電ユニット形名	消費電力係数
店舗用トータルシステムコントローラ	16	空調室内ユニット	4
冷凍機異常通報器 (OC)、除霜コントローラ (OD)	3	M-NET 系 リモコン	1
漏電異常通報器 (EL)、照明コントローラ (SL)		MA 系 リモコン	0
ショーケース照明サブリモコン (SR)			

また、伝送線用給電拡張ユニットへ接続できる受電ユニットは最大 40 台です。

※ 店舗用トータルシステムコントローラ 1 台は受電ユニット 4 台分に相当

3.3 アドレスの設定

各機器のアドレス設定方法は次の通りです。同一アドレスの重複設定はできません。

番号	ユニットまたはコントローラ	アドレス設定方法	アドレス	接続可能台数
①	店舗用トータルシステムコントローラ	アドレスは 000 固定。 (2 台目を増設する場合は、右記括弧内のアドレスを設定してください。)	000, (201 ~ 204)	2 ※1
②	冷却ユニット (ショーケース、プレハブ制御ユニット (CC))	右記範囲内のアドレスを設定してください。	001 ~ 099, 101 ~ 199	150 ※2
③	冷凍機 (R410A コンデンシングユニット)	151 から連番にしてください。	151 ~ 182	15
④	冷凍機異常通報器 (OC)	右記範囲内のアドレスを設定してください。	101 ~ 199	15 ※2
⑤	除霜コントローラ (OD)	右記範囲内のアドレスを設定してください。	101 ~ 199	
⑥	漏電異常通報器 (EL)	右記範囲内のアドレスを設定してください。	101 ~ 199	
⑦	照明コントローラ (SL)	右記範囲内のアドレスを設定してください。	101 ~ 199	
⑧	ショーケース照明サブリモコン (SR)	右記範囲内のアドレスを設定してください。	201 ~ 249	
⑨	空調室内ユニット ビル用マルチ設備 PAC スリム PAC	同一グループ内の親機にしたい室内ユニットを最も若いアドレスにし、同一グループ内の室内ユニットのアドレスを連番にしてください。	001 ~ 050	35 ※2
⑩	A 制御スリムエアコン	室内ユニットと同様に設定してください。 M-NET アダプタ (別売品) が必要です。	001 ~ 050	
⑪	空調室外ユニット	冷媒系統内の室内ユニットの中で最も若い室内ユニットアドレス + 50 に設定してください。	(051 ~ 100)	(35) ※3
⑫	M-NET 系リモコン	同一グループの内の最も若い室内ユニット親機アドレス + 100 に設定してください。ただし、従リモコンの場合は、+150 に設定してください。	101 ~ 200	70 ※2
⑬	MA 系リモコン	アドレス設定不要です。但し、2 リモコン運転する場合は主従切換スイッチ設定が必要です。	-	(35) ※4

※1 FM から置き換えて使用する場合は、接続台数は 1 台になります。

※2 ②、④~⑩、⑫の合計台数が 150 台以下であること。

※3 アドレスを設定しても、接続可能台数にカウントしません。

※4 アドレスの設定が不要なので、接続可能台数にカウントしません。

3.4 M-NET 配線設計

M-NET 伝送線の種類と許容長

配線の種類	対象施設	全ての施設
	種類	シールド線 CVVS・CPEVS・MVVS
	線数	2心ケーブル
	線径	CVVS、MVVS：1.25mm ² 以上 CPEVS：φ1.2mm以上
室内外伝送線最遠長		最大 200m
集中管理用伝送線および室内外伝送線最遠長 (空調室外ユニットおよび冷凍機を経由した最遠長)		最大 500m *集中管理用伝送線に設置される伝送線用給電ユニットから 空調室外ユニット、冷凍機および店舗用トータルシステム コントローラまでの配線長は最大 200m

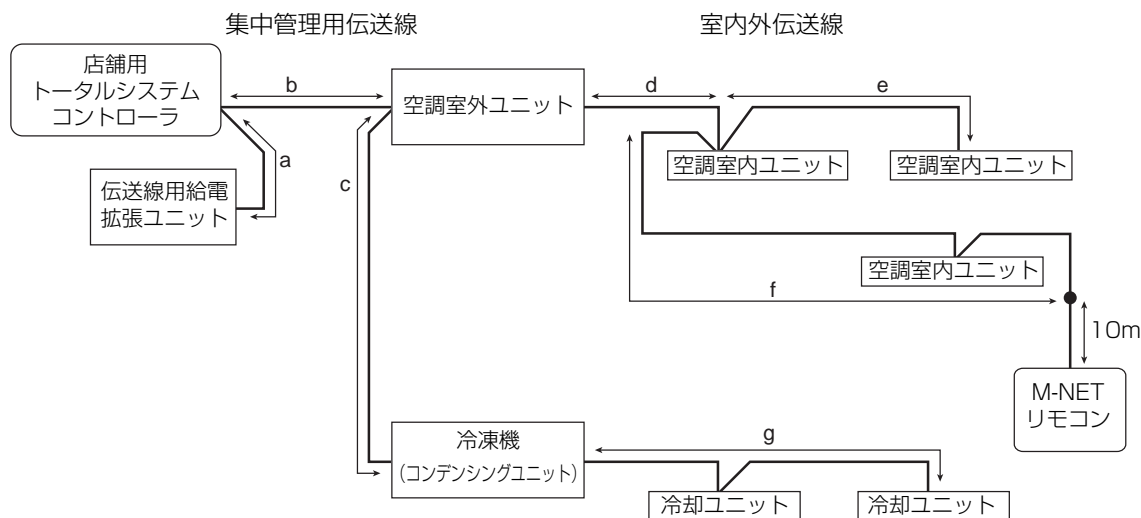
M-NET 伝送線の配置図例を示します。

1 系統あたりの集中管理用伝送線、室内外伝送線の線長制限で示すと、下図の例で最遠長は下の式で表わされます。

図中の a から g はシステム内の配線箇所を示しています。これは他の機器と M-NET 伝送線上で通信を確実にこなうための距離制限です。この距離を超えると末端の機器まで M-NET 信号が届かなくなり、通信・制御不能となります。

$$a + b + d + e(f) \leq 500m \quad a + b + c + g \leq 500m \quad e(f) + d + c + g \leq 500m$$

手元リモコン配線は 10m 以内となります。10m を超える場合は、超える部分を「最遠長 500m 以内」の内数に加算します。



(1) 集中管理用伝送線

集中管理用伝送線の給電距離は以下の式で表されます。

これは、集中管理用伝送線上に給電できる距離制限です。この距離を超えると末端機器までの給電が届かなくなり、通信、制御不能となります。

$$a + b \leq 200m \quad a + b + c \leq 200m$$

(2) 室内外伝送線

室内外伝送線の給電距離は以下の式で表されます。

これは、室内外伝送線上に給電できる距離制限です。この距離を超えると末端機器までの給電が届かなくなり、通信、制御不能となります。

$$d + e(f) \leq 200m \quad g \leq 200m$$

また、手元リモコンの配線が 10m を超える場合は、超える部分を「最遠長 500m 以内」かつ「給電距離 200m 以内」の内数に加算します。

4 据付方法

電気工事をする場合、伝送線用給電拡張ユニット (PAC-SF46EP) の電源を遮断すること



4.1 現地手配部品

本機を据付ける前に、以下の部品をご準備ください。

品名	所要数	備考
スイッチボックス：3 個用	1	
薄鋼電線管	必要量	壁面に直接据付ける場合は不要です。
ロックナット、ブッシング	必要量	
M-NET 伝送線	必要量	シールド線をご使用ください CVVS, MVVS : 1.25mm ² ~ 2mm ² CPEVS : φ1.2mm ~ φ1.6mm

4.2 現地必要工具

- ・ナイフまたはニッパー
- ・その他一般工具

4.3 据付方法

本機は以下のいずれかの方法で据付けることができます。

据付方法に応じた工事をおこなってください。

- スイッチボックスに据付
- 壁面に直接据付
 - 配線を壁の中から引き込む
 - 配線を壁伝いに引き込む

4.4 準備

(1) 据付けにあたり、給電ユニットの電源線には必ず電源遮断装置を取付けてください

(2) 本機の据付位置を決めてください

高さは、本機をよく使用される方の目線のやや下の位置が一番操作しやすい位置となります。

また、製品周囲には、右図で示すスペースを確保してください。本機正面には操作ができるスペースを確保してください。

(3) ケーブルを据付位置まで準備してください

M-NET 伝送線と外部出力用配線 (使用する場合) を据付位置まで準備してください。

- ・据付け方式 (a) と (b-1) の場合

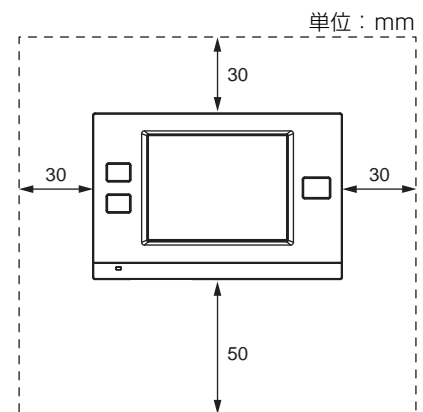
据付位置までのケーブルは、30cm 程度長めに準備してください。

M-NET 伝送線の先端から 20cm 程度、ケーブルのシースを剥いてください。

- ・据付方式 (b-2) の場合

据付位置までのケーブルは、15cm 程度長めに準備してください。

M-NET 伝送線の先端から 10cm 程度、ケーブルのシースを剥いてください。



お願い

シールド線は本機に押し込んだり、接続させたりしないでください。シールド線を引込口手前でカットし、ビニルテープで絶縁してください。

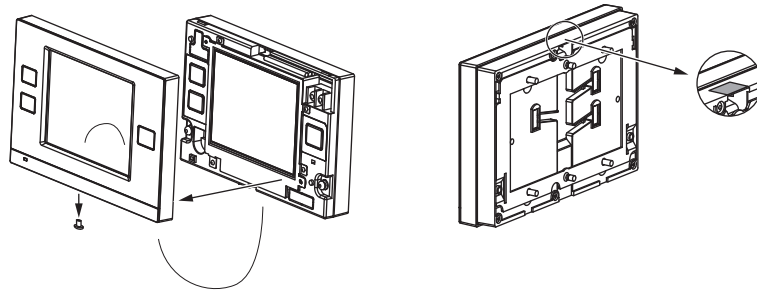
お願い

外部出力信号線を使用する場合は、5 章「外部出力使用方法」を参照してください。

(4) 本機を準備してください

本体底面のネジを外し、カバーを取り外してください。

なお、配線を壁伝いに引き込む場合、本体上部の内側薄内部（下図の網掛け部）をナイフ・ニッパーなどで切り取ってください。M-NET 伝送線をこの部分から引き込みます。



4.5 据付手順

(1) 配線引き込み方法

(a) スイッチボックスに据付ける場合

スイッチボックスにある穴から M-NET 伝送線を引き出し、スイッチボックスと電線管の結合部のケーブル引き込み口をパテでシールしてください。

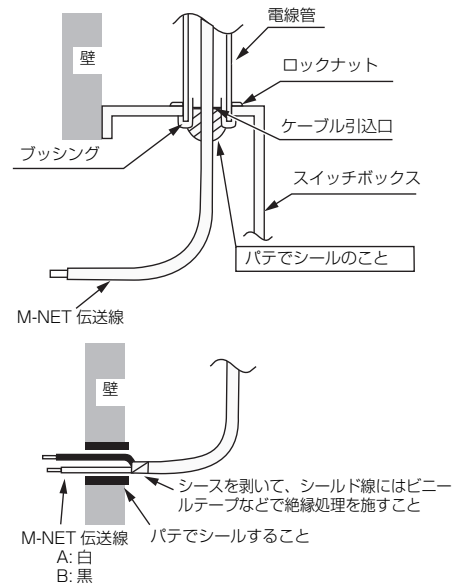
(b) 壁面に直接据付ける場合

(b-1) 配線を壁の中から引き込む場合

壁に穴を開け、M-NET 伝送線を壁から引き出し、ケーブル引き込み口をパテでシールしてください。

(b-2) 配線を壁伝いに引き込む場合

本機の裏面上部のケーブル引き込み口から M-NET 端子台までは約 10cm です。
長すぎる場合は、M-NET 伝送線を短くカットしてください。



配線引き込み口をパテでシールすること。
しなかった場合、感電・故障・火災のおそれあり。

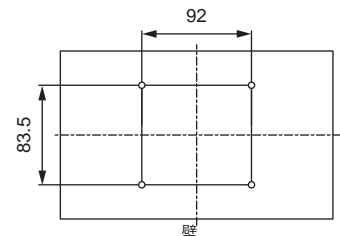


(2) 付属の取付板を固定する

取付位置に取付板をネジ（付属）で固定します。

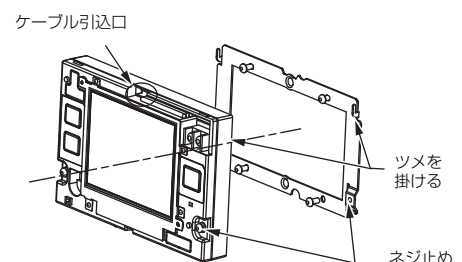
取付板のネジ位置寸法は右図となります。

単位：mm



(3) 本体を取付板に取付ける

ケーブル引き込み口の背面から M-NET 伝送線 (A,B) を引き込んだ状態で本体を取付板のツメに引っ掛けます。ネジ止め部を M4 ナベネジ（丸ワッシャー、スプリング付）(M4×20) で取付板に固定します。

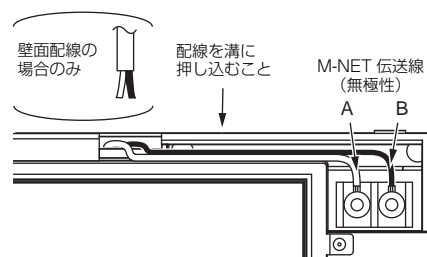


(4) 配線を接続する

M-NET 伝送線 (A,B) を端子台に接続します。伝送線は無極性です。カバーが閉まるように、配線を溝に沿わせて押し込んでください。

お願い

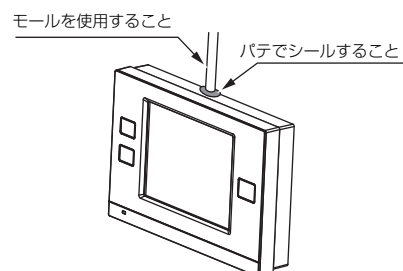
本機の M-NET 端子には M-NET 伝送線のみ接続してください。
AC 電源は接続しないこと。
M-NET 端子で M-NET 伝送線を渡り配線しないでください。



※ 配線を壁伝いに引き込む場合

ケーブルをモールで固定し、ケーブル引き込み口をパテでシールしてください。

配線引き込み口をパテでシールすること。
しなかった場合、感電・故障・火災のおそれあり。



(5) カバーを取り付ける

カバーをはめ込み、底面のネジで固定します。
ネジの締付けは 10N・m 以下のトルクで締付けてください。

5 外部出力使用方法

5.1 外部信号出力機能

外部信号の出力には別売りの外部入出力アダプタ (PAC-YT41HA) をお買い求めください。
別途、外部電源が必要になります。

(1) 外部出力 (CN3)

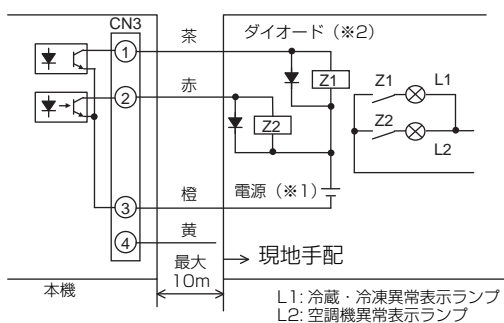
1 台以上の冷蔵・冷凍機器に異常が発生し、かつ、警報レベル 2 以上に設定された異常である場合に「冷蔵・冷凍機器の異常発生」の信号を出力します。
また、1 台以上の空調機に異常が発生しているとき「空調機の異常発生」の信号を出力します。

(2) 外部出力仕様

CN3	リード線	各端子の内容
1	茶	冷蔵・冷凍機器の異常発生
2	赤	空調機の異常発生
3	橙	外部出力共通 GND(外部 DC 電源 GND)
4	黄	未使用

(3) 推奨回路例

リレーを駆動させる場合



リレー Z1, Z2 は次の仕様のものでご使用ください。
 ・コイル定格電圧：DC12V, DC24V(※1)
 ・コイル消費電力：9W 以下
 (※1) 使用するリレーに合わせて電源を別途手配してください。(DC12V または DC24V)
 (※2) コイルの両端に必ずダイオードを入れてください。

- ① 接続ケーブルの延長は、10m までとしてください。
 (0.3mm²) 以上のケーブルをご使用ください)
- ② ケーブルを延長した継目部分はビニルテープなどで確実に絶縁処理をしてください。
- ③ 電源、リレー、ランプ、ダイオード、延長ケーブル等は別途、現地ににて手配してください。

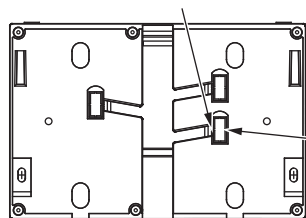
お願い

外部入出力アダプタを本体のコンネクタ CN3 に接続する場合は、コンネクタ CN3 のノックアウト穴をニッパー等で開けてください。

ケーブルをコンネクタに接続後、テープなどで、ケーブルを押さえてください。

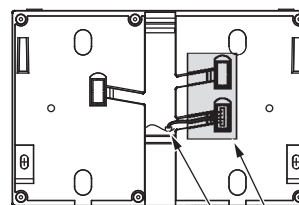
工具を深く突きこむと、基板を破壊する恐れがあります。

ノックアウト穴を開ける



背面図

CN3
外部出力コネクタ



テープ
外部出力アダプタ

6 SD メモリーカード使用方法

本機は底面に SD メモリーカードのインターフェースを保有しています。ソフトウェアを更新する場合に使用します。

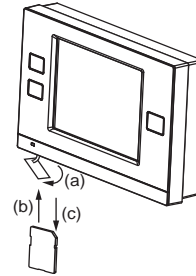
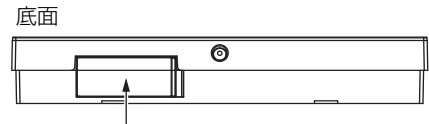
ソフトウェアの更新方法の詳細は、店舗用トータルシステムコントローラ技術マニュアルを参照してください。

※SD メモリーカードはサンディスク社製 1GB、2GB、トランセンド社製 2GB の動作確認を実施しています。



®SD ロゴは SD-3C, LLC の商標です。

- (a)SD メモリーカード差込口のカバーを外してください。
- (b)SD メモリーカードを “カチッ” と音がするまで差し込んでください。
- (c) 取り出すには “カチッ” と音がするまで指で SD メモリーカードを押し込んでください。



7 別売り部品一覧

名称	形名	用途	備考
外部入出力アダプタ	PAC-YT41HA	外部出力機能を使用する場合の接続アダプタ	外部出力機能を使用時に必要です ・ 4 線ケーブル (出力用) ・ 5 線ケーブル (入力用) ※ 使用しません

8 お願い

工場出荷時、カバーの操作面に保護シートを貼っています。ご使用前に、保護シートをはがしてください。

●この据付工事説明書は据付後お客様にお渡しください。

三菱電機株式会社

冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平 6-5-66 (073)436-2111

WT06277X02